指導と評価の年間計画（シラバス）

学校番号	1205
大阪府立岬高等学校　総合学科	

令和　　2 年度　　国語　　科

教科	国語　　科	科目	国語総合　甲	単位数	3/5　　単位	年次	2　年次
使用教科書（出版社）	明解　国語総合　改訂版　（三省堂）						
副教材等（出版社等）	基本級別漢字　浜島書店						

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

5単位ある国語総合の科目から3単位分、現代文だけを学習するのが、国語総合甲です。
2年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を身につけることを心がけましょう。
話し合いや発表などを授業の中で積み重ね、コミュニケーション力を身につけましょう。
文章を読み、理解する中で「話す力」「聞く力」「書く力」「読む力」を身につけましょう。
予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業のあとには内容を振り返って復習してください。
提出物の期限は必ず守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2．学習の到達目標

目的や場にふさわしい語句を理解し、適切に思いや考えを表現することができる。
目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。
人間関係において、自己を表現し、他者の心と共感するなど互いの存在についての理解を深め、尊重しようとする態度を身につける。
言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
伝統的な言語文化に触れることで理解を深め、言語文化に対して広くかつ深い関心をもつ。

3．学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：話す・聞く能力	c：書く能力	d：読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	それぞれの教材に、興味を持って取り組む姿勢を持つ。それぞれの作者や作品に、関心を示すとともに、作者が生きた時代や作品が生まれた時代背景を理解しようとする。言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げる。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりする。	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになる。語句の意味を調べ、対義語・類義語を理解し、語句を使って短文作りをすることによって理解を促す。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 記述の確認及び分析 （発表等のパフォーマンスの評価） （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	e	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	随筆	教材： 「ベトナムのコーヒー屋」 副教材： 基本級別漢字	○			○	○	a: 人物の心情や行動を理解し、文中で示される人と人とのあたたかい交流について読み味わい、感じ取ろうとする。 d: 描かれたエピソードから「私」の心情がどのように変化し、コーヒー屋の家族とどのように絆を深めていったかを理解する。 e: 常用漢字の音訓の読みを理解する。	ノート・ワークシート 漢字ワーク 授業態度 定期考査
		教材： 「負け方を習得する」 副教材： 基本級別漢字	○			○	○	a: 現代社会で生きていく上でどのような考え方を身につければよいか、筆者の主張を文章から読み取ろうとする。 d: 「適切な負け方」などのキーワードの意味を捉え、筆者の主張の要点を理解している。 e: 常用漢字の音訓の読みを理解する。	ノート・ワークシート 漢字ワーク 授業態度 観察（発言） 定期考査
	小説	教材： 「羅生門」 副教材： 基本級別漢字	○			○	○	a: 追いつめられた状況の中での、人間の考え方や心の動きについて考える。 d: 場面の推移や比喩表現に注意しながら、主人公の心理の移り変わりを捉える。 e: 常用漢字の音訓の読みを理解する。作者について知る。	ノート・ワークシート 漢字ワーク 授業態度 観察（発言） 定期考査
2学期	評論	教材： 「水の東西」 副教材： 基本級別漢字	○			○	○	a: 二つの水の姿を捉え、文化の違いについて考えを深めようとする。 d: 二項対立によって展開される評論の基本的な形式について理解する。 e: 常用漢字の音訓の読みを理解する。	ノート・ワークシート 漢字ワーク 授業態度 観察（発言） 定期考査
	短歌	教材： 「遠い片手」短歌九首	○		○	○		a: 繰り返し読んでリズムを味わい、短歌に表された情景と心情を読み取ろうとする。 c: 学校生活をテーマに、季語を入れて短歌を作る。 d: 短歌の修辞や、語句の用い方について理解する。	ノート・ワークシート 授業態度 ノート・ワークシート 観察（発言） 定期考査
	随筆	教材： 「ツゴイネルワイゼン」 副教材： 基本級別漢字	○	○		○	○	a: 一人の人間と戦争との関わりをもとに、生きかたについて考えを深める。 b: 戦時中と現代の人々の日常生活における違いについて、意見を出し合う。 d: 構成に着目してできごとを捉え、筆者の思いを読み取る。 e: 常用漢字の音訓の読みを理解する。	ノート・ワークシート 漢字ワーク ノート・ワークシート 観察（発言） 授業態度 観察（発言） 定期考査
	評論	教材： 「届く言葉、届かない言葉」 副教材： 基本級別漢字	○			○	○	a: 心に届く言葉とはどのようなものかについて考える。 d: 事例を考えとを的確に区別でき、筆者の考えの中心がどこに書かれているか、捉える。 e: 常用漢字の音訓の読みを理解する。	ノート・ワークシート 漢字ワーク 授業態度 観察（発言） 定期考査
3学期	評論	教材： 「豊かな仕事言葉」 副教材： 基本級別漢字	○			○	○	a: 言葉の響きを味わい、その違いによってどのような印象が違うのかを考える。 d: 具体的な場面と抽象的な場面の違いを理解し、筆者の考えを理解する e: 常用漢字の音訓の読みを理解する。	ノート・ワークシー 漢字ワーク 授業態度 観察（発言） 定期考査
	小説	教材： 「とんかつ」 副教材： 基本級別漢字	○			○	○	a: 登場人物を、その言動から捉え、人物像を明らかにする。 d: 少年とそれを支える母親、二人を見守る宿の人たちの交流と心情を読み取る。 e: 常用漢字の音訓の読みを理解する。	ノート・ワークシート 漢字ワーク 授業態度 観察（発言） 定期考査